

## 食品ロス削減推進計画の策定に関する意見について

(廃棄物減量等推進審議会(第77回)より)

### (質問・意見1)

食品の値上げに始まり、焼却を含む処理費用全体が高騰する中で、食品ロスを削減することは経済的な面、温室効果ガス削減、等で高い効果が見込める中で、横須賀市では食品ロス削減に向けた具体的な目標設定を何故行わなかったのか、とても疑問に思います。その理由と今後の方針について説明をお願いします。令和5年秋にパブリック・コメントを実施するのは構いませんが、目標を具体的に設定もせず、ただパブリック・コメントを行っても意味があるのか疑問です。市民が考え、議論できる材料(内容)を市はきちんと発信すべきです。

### (質問・意見2)

一般家庭から出る食品ロスは食品ロス全体の約半分の247万トンとされています。その理由は、①食べ残し、②痛んでいた、③「賞味期限・消費期限」切れなどが多い事がわかっています。

食品ロスは生ごみとして廃棄され焼却処分されます。焼却処分を行えば二酸化炭素が発生します。また、焼却処分せずに埋め立てを行えば、約25倍のメタンが発生します。

食品ロスは焼却や埋め立てをすることにより、地球温暖化や気候変動に大きく影響します。

食品ロスを減らすには、①「買い過ぎない」→「必要な分だけ買う」②「作りすぎない」→「食べきれる量を作る」→「それでも残った物はアレンジして使い切る」などの様々な工夫をして食品ロスを減らす努力をする必要があります。

私も、今回改めて食品ロスが地球温暖化や気候変動に関係が少なからず有ることが分かり、勉強させていただきました。

今回の食品ロス削減推進計画の方向性については、数値を入れたりすることなく、一人一人が食品ロスを出さない為に何をすべきかを考えるような施策が必要な気がします。

### (質問・意見3)

食品ロスについては、特に量的に多く注目されるものを確認したい。

また当該食品の特徴により、たい肥化、飼料化などの資源化可能なものを判別し、再資源化の仕組みを構築することも重要と思われる。

### (質問・意見4)

「横須賀市食品ロス削減推進計画」策定、実施に期待しています。パブリック・コメントの実施など、多くの方からの意見を参考に進めてください。